

1. 評価報告概要表

作成日 平成21年12月9日

【評価実施概要】

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 事業所番号 | 1072100314 |
| 法人名 | 特定非営利活動法人かしわ |
| 事業所名 | グループホームかしわ |
| 所在地 | 高崎市箕郷町柏木沢586-5 (電話) 027-371-5240 |

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構 |
| 所在地 | 群馬県前橋市新前橋町13-12 |
| 訪問調査日 | 平成21年12月9日 |

【情報提供票より】(平成21年11月15日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|--------|-----------------------|
| 開設年月日 | 平成12年4月1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 12 人 | 常勤 | 5人, 非常勤 7人, 常勤換算 5.1人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------|------|------|
| 建物構造 | 木造造り | | |
| | 2階建ての | 1階 ~ | 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|-----------------|----------------|----------|
| 家賃(月額) | 30,000~31,000 円 | その他の経費(月額) | |
| 敷金 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 300 円 |
| | 夕食 | 300 円 | おやつ 円 |

(4) 利用者の概要(11月15日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名 | 男性 | 2名 | 女性 | 7名 |
| 要介護1 | 3名 | 要介護2 | | 3名 | |
| 要介護3 | 2名 | 要介護4 | | 1名 | |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | | 0名 | |
| 年齢 | 平均 82歳 | 最低 | 62歳 | 最高 | 90歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------------------|
| 協力医療機関名 | 佐藤医院、吉原クリニック、田中病院、文京歯科 |
|---------|------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、緑が豊かな榛名山南面の中腹の畑が広がるなかに立地している。木造二階建ホームで暮らす入居者は、天気の良い日には近隣を散歩したり、庭先の草花の水遣りをしたり、野菜を育てたり、ベランダで外気浴をしている。ホールでは入居者同士の談笑が聞こえ、新聞を読んだり、炬燵でテレビ観賞したり、居室でペン習字の学習をするなど思い思いに過ごしている。一人ひとりが自由にゆったりと尊厳を守られて生活をしている。職員の離職は殆どなく、入居者と職員は馴染みの関係を築いている。職員は活発な意見交換をして、理念に基づく支援に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>昨年の外部評価を受けて、重要事項説明書の苦情相談受付窓口と公共機関相談窓口も記載をするようにしている。また、その書類を玄関に置き誰もがみられるようになっている。地域の災害協力については、運営推進会議で依頼したいと考えている。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者、管理者、全職員は評価の意義を理解し、自己評価は会議で話し合い管理者がまとめている。自己評価及び外部評価結果について会議で検討している。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月毎に開催され、利用状況、行事運営、評価結果報告、その他について意見交換がなされ、区長からの地域の情報、市担当者からの保険制度の変更の説明、家族からの意見等を運営に活かしている。また、会議を通じて地域の方へ災害時の協力依頼をされるよう期待したい。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>玄関には意見箱が設置されている。職員は家族の面会時に意見が聞けるよう働きかけている。出された意見は検討している。苦情相談受付窓口については入居時に説明し、重要事項説明書に明記をしている。家族への報告は入居者の暮らしぶりや健康状態等電話で伝え、面会に見えた折には入居者の生活ぶりや行事の写真の掲示を見て頂いている。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の一員として、近隣の神社の祭りに出向いたり、近隣を散歩の折には挨拶を交わしたり、散歩道のゴミ拾いをしている。育成会の行事「どうかんや」では子ども達がホームを訪れたり、介護学生の実習受け入れ等をして、地域との交流をしている。さらに、地域の小中学校、幼稚園等に積極的に働きかけて交流するよう期待したい。</p> |

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ホーム開設時より「ゆったりと、自由で安らぎのある生活と入居者の尊厳が保たれた生活を目差す。」と理念に謳い、一人ひとりの生活に合わせて支援をしている。 | ○ | 地域密着型サービスとして、地域生活の継続と関係性を謳う表現になるよう理念の見直しを期待する。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者、職員は会議時に理念について話し合い、確認をしている。入居者を人生の大先輩として、尊厳を大切にし、負担にならないような生活や楽しみの支援に取り組んでいる。ホールには分かりやすい大きな字で書かれた理念が掲げられている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 近隣の神社の祭りに地域の一員として参加したり、育成会の行事「とうかんや」では子ども達がホームを訪れたり、介護実習生の受け入れをしている。また、入居者が縫う雑巾を公民館に届けたり、近隣を散歩の折にビニール袋を携えてゴミ拾いをしている。 | ○ | 地域住民の一員として、地域の子ども達と交流する為に学校や保育園等への働きかけを期待する。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 運営者、管理者、全職員は評価の意義を理解し、自己評価は管理者、全職員で会議で話し合いまとめている。昨年の評価を受けて、重要事項説明書に公共機関苦情相談受付窓口を加え明記している。また、災害協力については運営推進会議で依頼をしたいと考えている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月毎に運営推進会議は開催され、入居状況、行事運営、自己評価及び外部評価結果、インフルエンザ、冷房調節等を議題に話し合い、市担当者から制度変更の説明、区長から地域の行事等の情報があり、サービスに活かしている。運営推進会議の議事録のコピーを家族に渡し、玄関に置いている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| 6 | 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>市の担当者には、空き状況やその他報告をしている。また、運営推進会議の議事録を市担当者に直接渡し情報交換をしている。</p> | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>入居者の暮らしぶりや健康状態を、毎月各家庭に電話で報告をしている。また、ホール及び廊下の壁に行事やホームの暮らしぶりの写真が掲示され、家族の面会時に見て頂いている。金銭については預かっているが、家族の了解を得て数千円を本人が持ち買い物をしている方もいる。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>玄関に意見箱が置かれている。職員は、家族から直接意見が聞けるよう働きかけをしている。苦情相談受付窓口は入居時に説明し、重要事項説明書に記載され、玄関脇に置かれている。意見が出されると検討し運営に反映させている。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>異動は殆どなく、1名替わった折には利用者の負担にならぬように新入職員をフォローしている。運営者は職員の意見等発言し易い雰囲気作りをして働き易いように配慮し離職等最低限に抑える努力をしている。</p> | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>職員は、段階に応じて県主催の実践、管理者等の研修会に出席して研修報告書を作成し、会議の折に報告をしている。新人職員は管理者から指導され、先輩職員からアドバイスを受け働きながらトレーニングしている。</p> | | |
| 11 | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>運営者、管理者は地域密着型サービス連絡協議会の研修会に出席し、同業者との交流をしている。西部ブロックで行うレベルアップ研修会に職員は出席し、交換研修をする予定がある。また、入居者と共に他ホームの和太鼓ショーに招待されて参加している。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人や家族にホーム周辺の環境や雰囲気を知ってもらうよう見学して頂き、また自宅に訪問し家族から生活ぶりなどを聞いて、自然に打ち解けられるよう支援をしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 「入居者は人生の大先輩である」と言う考え方を職員は共有している。入居者の若い頃の生活や戦争体験を語ってもらい、物を大切にすることや工夫で時間短縮できる所作等を教えられ、学んだり支え合う関係を築いている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人に希望を聞いたり、しぐさや毎日の生活ぶりから思いや意向の把握に努め、困難の場合は家族からの情報を得て検討をしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 入居者がより良く暮らせるように、本人・家族からの希望、かかりつけ医の意見等を聞き、毎月のケア会議で話し合いをしてケアマネージャーが介護計画を作成している。介護計画は、家族の同意を得ている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の期間は6ヶ月となっているが、毎月モニタリングを行ない、心身の健康状態の変化や本人や家族の希望等があると随時見直しをしている。介護目標及び介護計画の立案の日付け、アセスメント等が記録として書かれていない。 | ○ | 見直しは随時されているが、介護計画の様式の検討を期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 家族の都合が悪いときは、入居者の受診の同行及び送迎、墓参りに出かける等、柔軟に支援をしている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族の希望を聞き、入居以前からの主治医、近隣の協力医がかかりつけ医となっている。協力医は月2回往診に見え、健康相談をしている。インフルエンザの予防接種も実施している。歯科の受診は連絡すると往診に見えて、口腔ケアの指導や相談に応じて頂ける。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ホーム利用開始の折に、ホームで出来得る介護について説明し、医療が必要になる場合は家族・かかりつけ医・協力医・ホームの職員が話し合いをして、方針を決めている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 入居者は人生の大先輩と考え、尊厳を傷つけない言葉遣いや対応をしている。個人の記録類は事務室に保管し、職員は個人の秘密保持の遵守を誓約している。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な日課表はあるが、全員が同じことをするのではなく、テレビ観賞したり、自室で学習したりそれぞれに過ごしている。また、行事で出かけたくない方には無理強いせず、その方の性格やペースを大切にして希望を聞いて支援をしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 野菜を刻む、皮むき等のごしらえやテーブルの準備、後片付け等をして、職員と会話しながら食事している。時々入居者と共にお饅頭等を作り、おやつを楽しんでいる。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は週2回、月曜日～金曜日の午後の時間帯で行っている。一人の方に一人の職員が会話をしながら入浴を介助している。一番風呂を好む方には最初に入浴して頂いたり、季節の柚子風呂等で楽しめるよう支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 洗濯物を干したりたたんだり、野菜の下拵え等の食事の準備や片付けをしたり、清掃や雑巾縫い等で力を発揮して頂いている。草花を育てること、ペン習字、貼り絵やクリスマスのリースを職員と共に作り各居室の入り口に飾る等をして、一人ひとりが好きなことを楽しめるよう気晴らしの支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 入居者は天気の良い日は近隣を散歩したり、草花の水遣りをしたり、ベランダで外気浴をしている。月1回のイベントでは、桜や菊見学・葡萄狩りに出かけたり、百円ショップでの買い物等で戸外に出かける支援をしている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 運営者及び全職員は鍵をかけることの弊害を理解し、日中は玄関の鍵をかけておらず、入居者は草花の水遣り、散歩など自由に玄関を出入りしている。職員は、入居者の安全を配慮して見守りをしている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回消防署の指導の下、夜間及び昼間を想定して火災避難訓練を入居者と共に行ない、避難経路・避難場所を確認している。今年は、近隣への災害時の協力依頼をしていく考えである。 | ○ | 災害時に地域の協力が得られるよう理解を求め、協力体制を築いていくことを期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|--|------|--|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 残食のある人の食事量はチェック表に記録され、職員は共有している。水分量については1200mlを目安に支援しているが、記録はしていない。献立は食材宅配会社の献立に、入居者の希望を取り入れている。便秘症の方には繊維の多い野菜やヨーグルト等体調に応じて提供している。 | ○ | 飲水量を意識することは水分摂取低下防止に繋がるので、飲水量をチェック表に記録されるよう期待する。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関には腰掛けて履物が履けるよう長椅子が置かれ、広いホールは南面からの太陽が差し込んでいる。壁には写真が飾られ、ホール中央には台所があり調理の音や匂いを直接感じられる。また、畳の部屋に掘り炬燵もあり、自宅に居るようにテレビ観賞が出来るよう工夫されている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室にはベットや本人の使い慣れた机や筆筒、テレビ等が持ち込まれ、家族の写真、俳句等本人や家族の好みにより飾られ、居心地よく過ごせるよう支援している。 | | |